



2018年2月19日

サノフィジェンザイム、9年連続で 「Rare Disease Day (世界希少・難治性疾患の日) 2018」に協賛

～社員による“Running for RDD”を開催し、参加人数に応じて難病支援団体へ寄付～

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジャック・ナトン、以下「サノフィ」)は、2018年2月28日(水)に開催される「Rare Disease Day(世界希少・難治性疾患の日、以下「RDD」)2018」に協賛することをお知らせします。

RDDは、より良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の質(QOL)の向上を目指して、2008年にスウェーデンで開始され、世界中で2月の最終日をRDDとしています。日本においては2010年に活動が開始され、現在では全国各地でイベントが開催されています。サノフィのスペシャルティケア部門であるサノフィジェンザイムは、希少疾患領域のリーディングカンパニーとして、2010年の開始時からRDDイベントへの協賛を続けています(前身のジェンザイム・ジャパン株式会社時代を含む)。

9回目を迎える今回のRDD2018のテーマは、「つながるちから～Take Action Now～」です。Rare Disease Day 日本開催事務局(特定非営利活動法人 ASrid)が、2018年2月28日(水)に新丸ビル(3F アトリウム)で開催する東京イベントには、患者さんおよびご家族の「生の声」を聞くセッションやパネル展示などのプログラムが予定されており、当日の様子は、リアルタイムでオンライン配信されます。

サノフィでは、「Empowering Life」のスローガンのもと、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えるというミッションの実現に向け、毎年、世界各地でRDDを記念した活動を実施しています。日本でも今年は2月23日(金)に、社員によるチャリティイベントとして患者さんのご家族の講演会とチャリティラン(Running for RDD)を実施し、イベントに参加した社員数に応じて難病支援団体へ寄付を行います。

サノフィジェンザイム ジェネラルマネジャーのパスカル・リゴディは、「世界には希少・難治性疾患が7,000もあると言われており、診断や治療が困難なケースも多くあります。私たちはRDDへの協賛、そして世界中の社員と共に総計7,000マイルを走り、歩くことを誓う“[Pledge For Rare](#)”というサノフィジェンザイムのグローバルキャンペーンを通して、日本においても、希少・難治性疾患への認知向上ならびに理解促進に会社を挙げて取り組んでいくことをコミットし、患者さんの早期診断・治療とQOL向上に貢献してまいります」と述べています。



「Rare Disease Day(世界希少・難治性疾患の日) 2018 in Tokyo」開催概要



日時	2018年2月28日(水) 11:00~21:00
会場	新丸の内ビルディング 3F アトリウム(東京都千代田区丸の内 1-5-1)
主催	Rare Disease Day 日本開催事務局(特定非営利法人 ASrid 内)
後援	厚生労働省、日本難病・疾病団体協議会(JPA)、難病のこども支援全国ネットワーク、日本製薬工業協会 ほか
プログラム	患者さんの生の声セッション NAMBYO Index(書籍・映画展示) 疾患に関するパネル展示 「つながるちから」ワークショップなど 詳細は RDD Tokyo ウェブサイトをご覧ください。 http://tokyo.rarediseaseday.jp/

以上

サノフィについて

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100カ国において10万人以上の社員が、革新的な医科学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

サノフィは、「Empowering Life」のスローガンの下、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えます。日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。